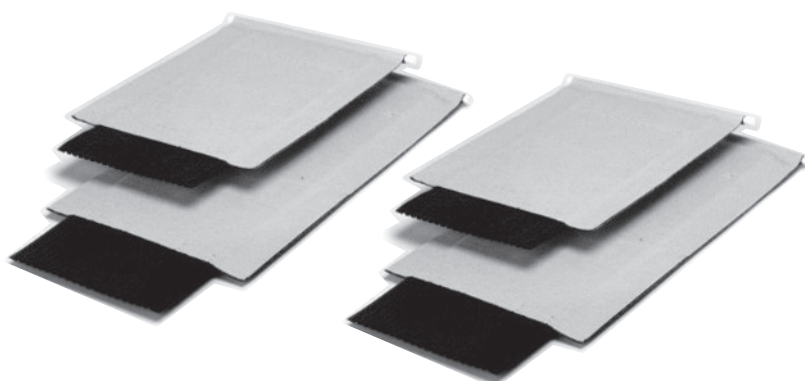


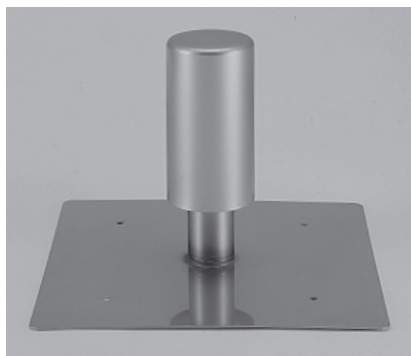
ベーパー [立上り部用] ステンレスベーパー [平面部用]

- 下地絶縁機能と中核防水機能を併せ持つルーフィングを使った〈ストライプ・ベーパー工法〉
- 防湿層兼用ルーフィングを使った〈フリースベスト・ベーパー工法〉
- 穴あきルーフィングを使った〈フリースポット・ベーパー工法〉
- 積雪寒冷地や押えコンクリート上への改修に威力を発揮する〈バリボード・ベーパー工法〉

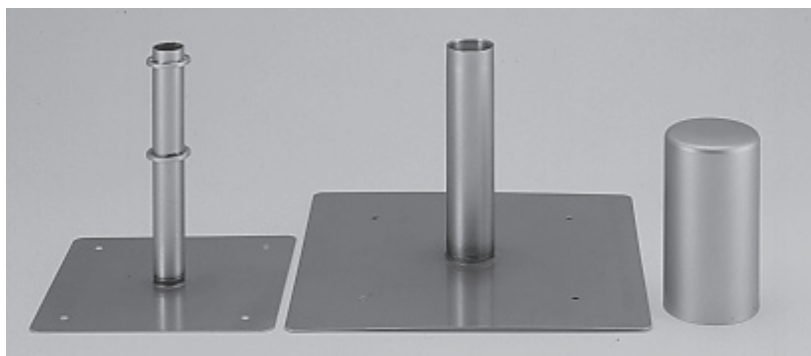
ベーパー



ステンレスベーパー



ステンレスベーパーW (アンダーベーパー付)



従来から露出防水層の“フクレ”は美観上の欠点とされてきました。その原因は、コンクリートスラブ内の残留水分が太陽熱によって気化蒸発し、逃げ道のなくなった水蒸気が防水層の下で次第に膨張し、その圧力が防水層と下地との接着強度を超えた時に、防水層を膨れ上がらせる現象として発生します。

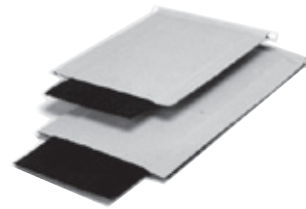
特に、スラブ下に断熱材を打ち込む工法やデッキプレートにコンクリートを打設する工法では、下地の十分な乾燥は期待できません。

“フクレ”を防止するには十分に下地を乾燥させ、外断熱工法を採用しスラブ温度の上昇を抑制したり、また、発生した水蒸気を外部へ誘導することなどが必要です。

「ベーパーシリーズ」は絶縁用下貼り防水材と組み合わせることで湿気を外部へ誘導し、“フクレ”追放に活躍します。立上り部用、平面部用(非断熱・断熱)があり、屋根形状や断熱材の有無などの諸条件に対応します。

露出防水の機能を一段と高める通気システム

ベーパーパス [立上り部用通気材]



ベーパーパスは、高品質の合成高分子ゴム成形品をゴムアス自着層付防水材で挟み込んだ、立上り部用通気材です。プライマーの塗布乾燥後、所定の間隔で貼り付けます。(他に立上り部用通気材として、オルタック防水用「立上り用ステンレスベーパーパス」、ビュートップ防水用「VT立上りベーパーパス」があります。)

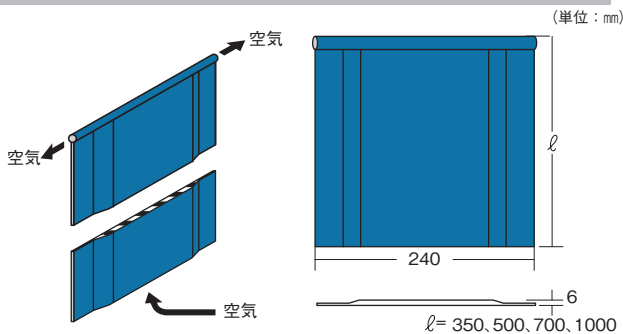
■特長

- 耐候性・耐腐朽性に優れています。
- 防水層が納まりやすい形状です。
- 剥離紙を剥がして貼り付けるだけです。施工が簡便です。
- 立上りの高さに合わせてカッターでカットして、簡単にサイズを調整できます。

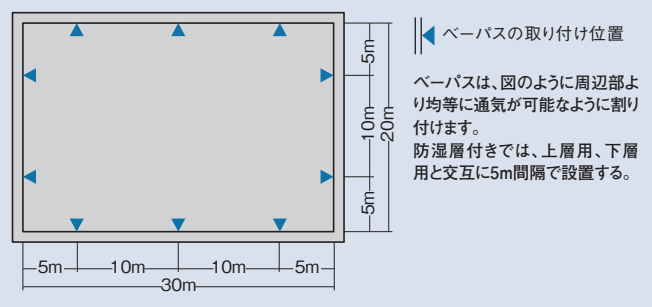
■規格

- 厚さ：6mm、幅：200mm
長さ：350mm・500mm・700mm・1,000mmの4タイプ
- 梱包：5本/箱
- 取付間隔：立上り部の長さ10mに1ヶ所程度、均等に。
※湿気が多い下地の場合には、状況に応じて取付間隔を狭くし、数を増やすなど調整をします。

■ベーパーパスの形状

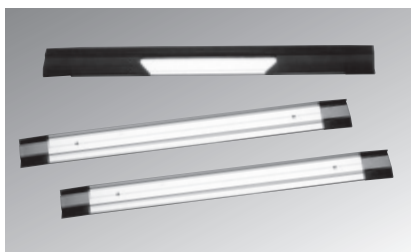


■ベーパーパス割り付け例



パラペットのあご下等で納める場合の補助材

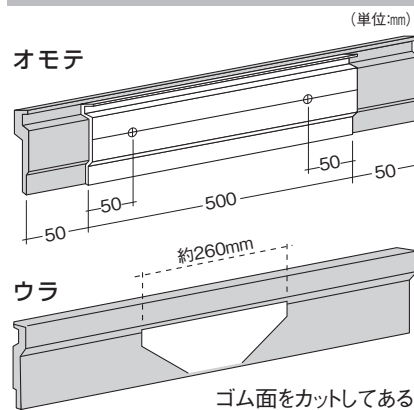
ベーパーライン



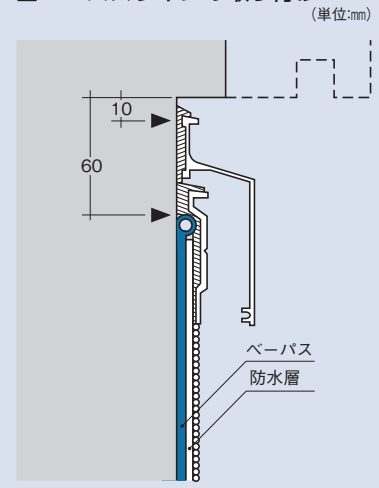
■規格

- 梱包：5本/箱
- ベーパーパス1ヶ所に1枚

■ベーパーラインの形状

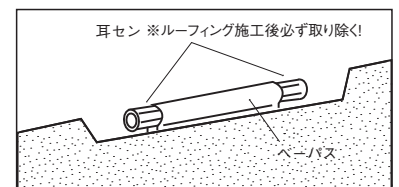
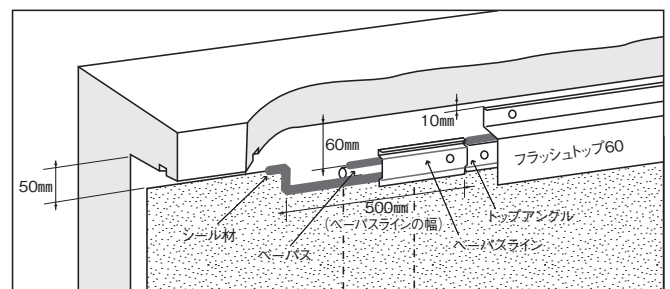


■ベーパーラインの取り付け



■施工:フラッシュトップ60を使用する場合

- ① 墨出し(アゴ下から)
 - ・フラッシュトップ60の上端………10mm
 - ・防水層・トップアングルの上端……50mm
 - ・ベーパーパスの上端………60mm
- ② 墨出しラインに合わせて、ベーパーパスを設置する。
- ③ ベーパーパス部の防水層は、図のようにベーパーパスの頭が出るようにカットして納め、シール材で処理する。
- ④ ベーパーパスライン両側のゴムパッキンはカットして設置し、トップアングルを接続する。



- ※フラッシュライン採用の場合には、防水層端部の基準線を30mmとします。
- ※ベーパーライン裏のゴムパッキンは、必要な形状を考慮してありますので、むやみに切り込まないでください。
- ※ベーパーパスの耳センは、ベーパーパスライン取り付け前に外してください。ルーフィング類の施工中は必ず耳センをしておいてください。

露出防水の機能を一段と高める通気システム

ステンレスベーパー [平面部用通気材]

ステンレスベーパー

屋上の構造などにより、立上り部への通気を行なえない場合や屋根面積が大きい場合には、平面部からも通気を行う必要があります。ステンレスベーパーは、耐候性・耐久性を考慮してステンレスを採用した平面部一般工法用の通気材です。

ステンレスベーパーW

断熱工法でも“フクレ”を防止するために、アンダーベーパーを組み合わせた2重脱気タイプの通気材です。断熱材下側の湿気をアンダーベーパーで、断熱材上側の湿気をステンレスベーパーで外部へ誘導します。

(他にビュートップ防水用「VTベーパー」があります。)

■規格

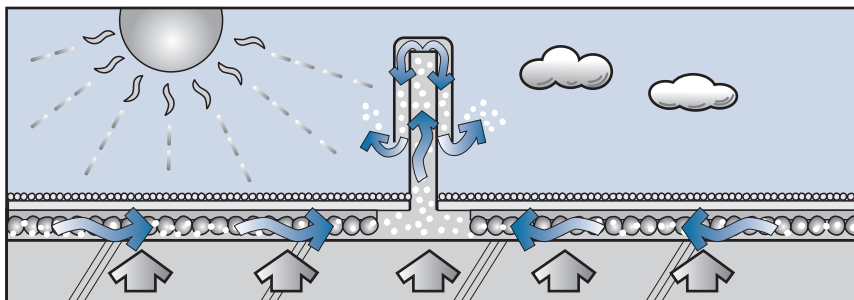
- 本体 高さ:190mm、パイプ径:42.7mm、底板:300mm×300mm
- キャップ 高さ:150mm、径:80mm
- アンダーベーパー 高さ:205mm、パイプ径:27.2mm、底板:200mm×200mm
- 取付間隔:屋根面積70~80㎡に1ヶ所の割合で、屋根全体に対して均等に脱気が可能のように取り付けます。湿気が多い下地の場合には、状況に応じて取付間隔を狭くするなどして取付数の調整をします。

■特長

- 底板がフラットで、アスファルト防水やオルタック防水※など、広範な防水工法に使用できます。(オルタック防水の場合プライマーを使用する。)
- 防水層との接続が簡単で施工し易く、確実な通気が可能です。
- 押えコンクリート上への改修工事にも威力を発揮します。
- 下地へ機械的に固定しますから、風飛びなどの心配がありません。
- ステンレス製ですから、耐久性も抜群です。

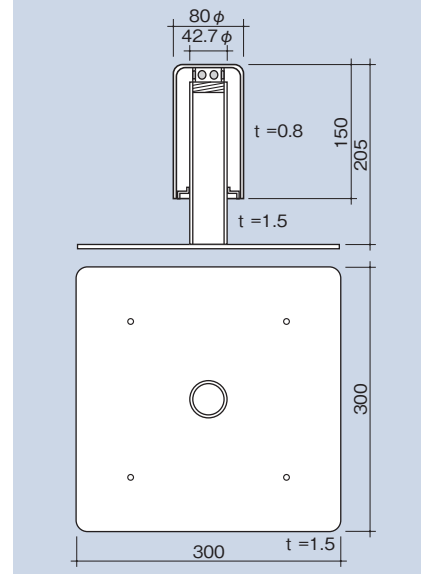
■施工

- ①部分接着用下貼り防水材の施工後に、ステンレスベーパー取り付け位置の下貼り材を12cm角程度切り取ります。
- ②下貼り材を切り取った位置に、ステンレスベーパーを付属のアンカーにてしっかり固定します。

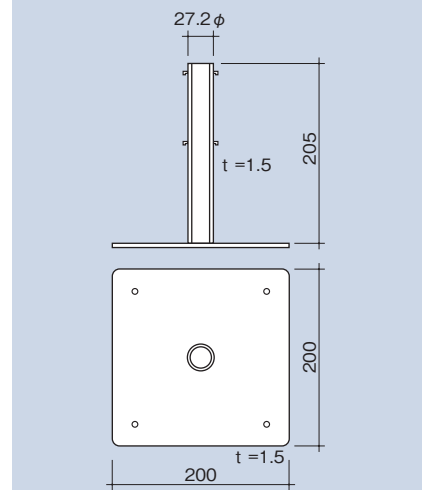


お願い 積雪地域での使用については、ご相談ください。

■ステンレスベーパーの形状 (単位:mm)



■アンダーベーパーの形状 (単位:mm)



キャップ嵩上げ用補助部品



■ステンレスベーパー用アジャスター

キャップ高さを5cm程の嵩上げ可能
ベーパー1カ所につき、2個
(10cm程度)まで

田島ルーフィング株式会社 <http://www.tajima.jp>

東京支店	〒101-8579	千代田区外神田4-14-1	TEL 03-6837-8888	横浜営業所	〒231-0012	横浜市中区相生町6-113	TEL 045-651-5245
大阪支店	〒550-0003	大阪市西区京町堀1-10-5	TEL 06-6443-0431	多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町1-12-20	TEL 042-503-9111
札幌営業所	〒060-0042	札幌市中央区大通西6-2-6	TEL 011-221-4014	金沢営業所	〒920-0025	金沢市駅西本町1-14-29	TEL 076-233-1030
仙台営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央1-6-35	TEL 022-261-3628	名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄1-9-16	TEL 052-220-0933
北関東営業所	〒330-0801	さいたま市大宮区土手町1-49-8	TEL 048-641-5590	広島営業所	〒730-0029	広島市中区三川町2-10	TEL 082-545-7866
千葉営業所	〒260-0032	千葉市中央区登戸1-26-1	TEL 043-244-3711	福岡営業所	〒810-0041	福岡市中央区大名2-4-35	TEL 092-724-8111